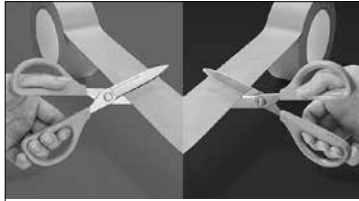


【機能部門】

グランプリ



コクヨ「ハサミ<サクサ> (グレーレス刃)



ゼブラ「ブレンユー」

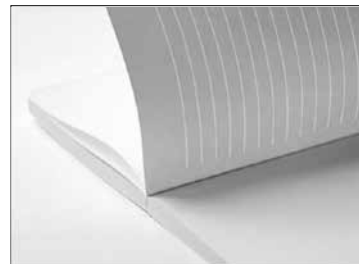


マックス「Vaimo11 Flarme」

【デザイン部門】



サンスター文具「テラスノ」



Information Architects
「iA ノートブック」



エスディアジャパン
「レピア」

ISOT夏・日本文具大賞 2025 グランプリ

コクヨの「ハサミ<サクサ>」が受賞



ISOT夏・日本文具大賞 表彰式
STATIONERY OF THE YEAR 2025 AWARDS CEREMONY



四国中央市が大規模出展したISOT会場

RX Japan株式会社と企業が一つになった四国中央市の「日本一の紙のまち・紙製品展【夏】」(通称「ちふー」)に市内紙関連企業16社が集団出展。手漉き紙、東京ビッグサイト東展和紙や水引細工、箔押しと示棟で、関連11展で1100社、3万5000点が出展する雑貨・文具・ファッション・美容・インテリア・食器の商談展「ライフスタイルWeek」内で開催された。ISOT会場では、行政

次年度は感性消費の時代はときめきが購買動機の起点になるとして、「ときめくデザインパッケージEXPO」を新たに立ち上げる。トレンドの「インバウンド・推し活・サステナブル」では、映えるパッケージ需要も急増。インバウンドは「日本らしさ」や観光地に根差したデザインが人気。推し活はパッケージそのものが購買理由になり、サステナブルでも素材やストーリーメッセージ性が企業姿勢を示す評価になる。会期初日の7月2日、その年の優れた文具に贈られるアワード「第34回日本文具大賞2025」のグランプリが発表され、機能部門

優秀賞の「ハサミ」は、コクヨ「ハサミ」が受賞。力量や利き手を問わず多様なユーザーに寄り添った設計や、「傾斜インサート」構造による軽い切れ味が評価された。「ハサミ」は、刃先まで軽い切れ味の「ハサミ」を搭載する人気の「ハサミ」シリーズ。2024年12月のリ

ニューアールに際し、コクヨ独自のインクルーシブなもののづくりプロセス「HOWS DESIGN」(ハウズデザイン)を取り入れ、さらに様々な方が使いやすいよう業界初の「傾斜インサート」を搭載。さらに多くの人にとって使いやすくなるようリニューアル。今回受賞の「ハサミ」は、粘着テープを切っても、刃のりが付きにくい「3Dグレーレス構造」を採用しており、日常使いに適したモデルとなっている。今年度はこれまでの機能性部門、デザイン部門、サステナブル部門に加え、革新的なアイデアや技術で文具の可能性を広げる製品を評価する「トレンド部門」が新設され、各部門から優秀賞3製品が選出された。各部門の優秀賞受賞商品は次

【機能部門】マックス「Vaimo11 Flarme」(Vaimo11が更なる軽さ、静音、低衝撃でバーションアップ)。ゼブラ「ブレンユー」(ユーザビリティを追求したフレキシブルの新モデル)。コクヨ「ハサミ・サクサ」(業界初の「傾斜インサート」構造を搭載。利き手を問わず切りやすい「ハサミ」)。

【デザイン部門】サンスター文具「テラスノ」(手元だけをそとと照らす「推し活」)。情報アーキテクト「iA」(「推し活」)。やまと印刷「絶滅危惧種の紙クリップ」(「サステナブル」)。

【サステナブル部門】やまと印刷「絶滅危惧種の紙クリップ」(「サステナブル」)。

【サステナブル部門】



やまと印刷
「絶滅危惧種の紙クリップ」



カール事務器「リメイクリングノートセット A5」



DOYA
「CHOCOPEN (チョコペン)」

【トレンド部門】



カール事務器
「ミニクラフトパンチセット
ジャパンコレクション」



キャノンマーケティング
ジャパン「ミニフォトプリンター SELPHY QX20」



ハゴロモ
「推しごと手帳 2025 年版」

トレンド部門を新設

優秀賞4部門12製品を選ぶ

販わう推し活EXPO



インバウンド向けグッズEXPO